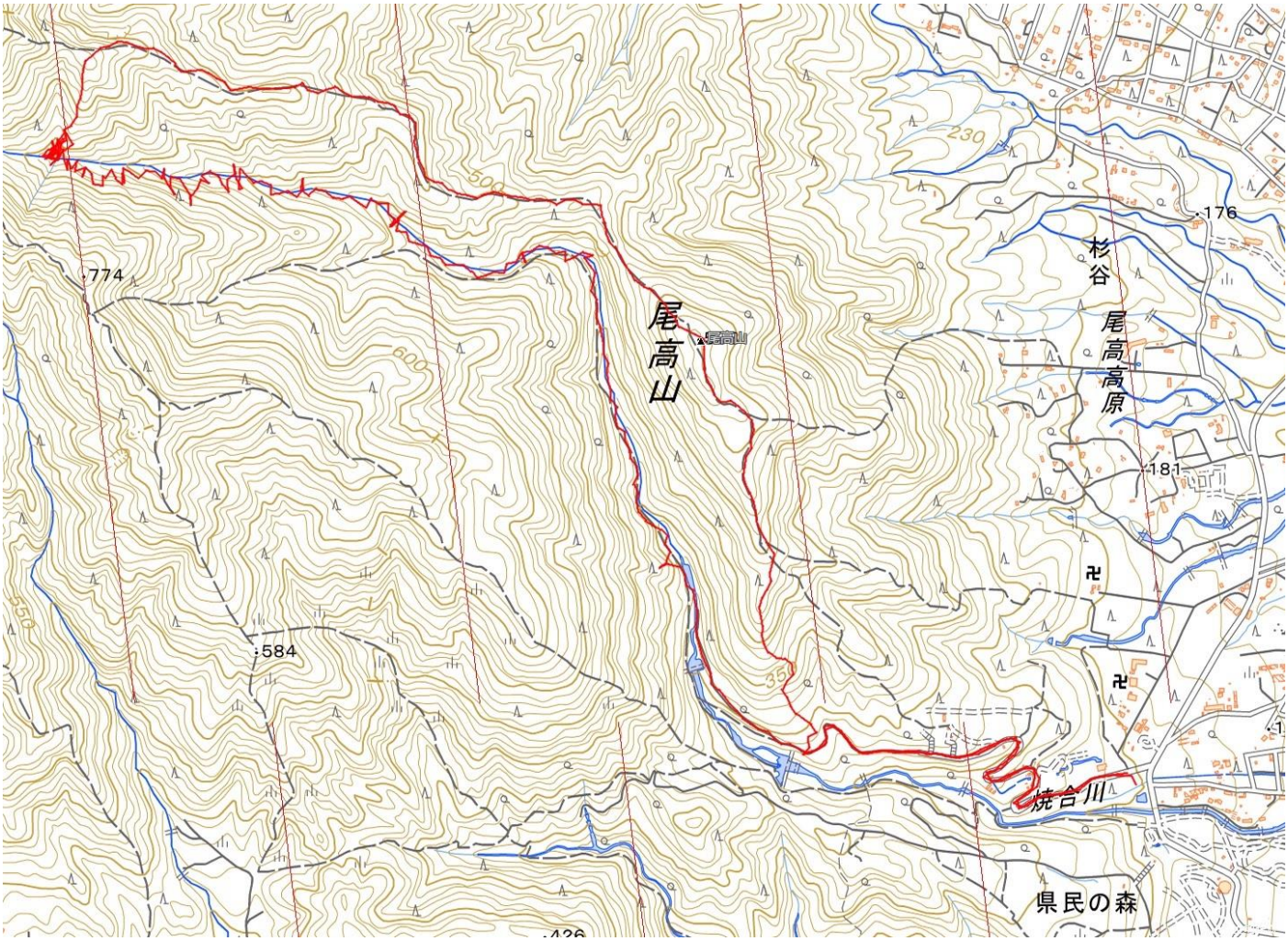
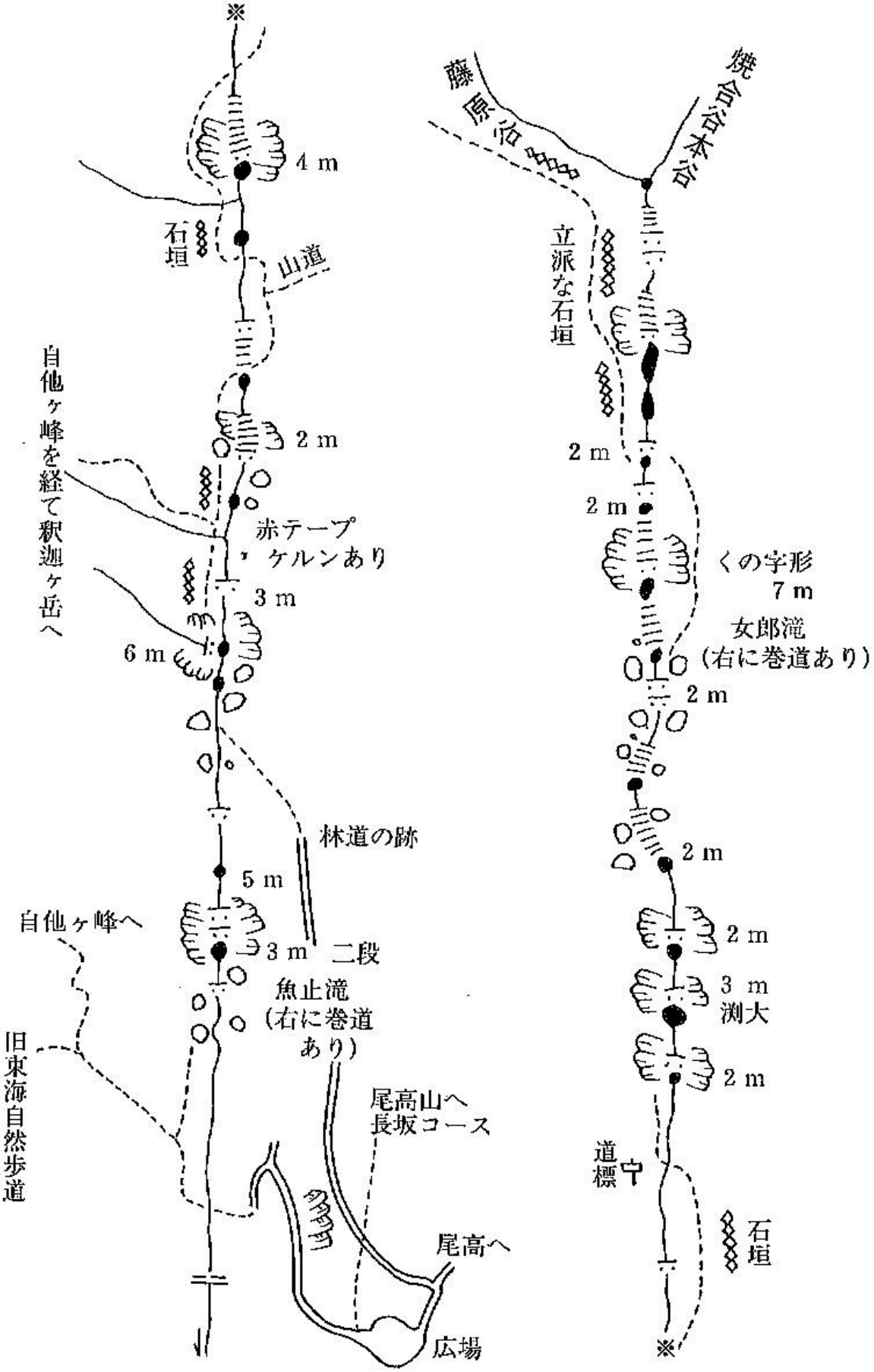
尾高山・焼合谷（やけごうだに） 9.5km 登り887m/下り876m 6時間20分

焼合谷（やけごうだに）は鈴鹿の釈迦ヶ岳から流れ出る沢で朝明川の支流。尾高高原キャンプ場があるのでアプローチもしやすく、危ない箇所はほとんどない為にあまり書籍では出てこない沢です。昔の山と高原地図には登山道も記載されていました。⇒「鈴鹿の山と谷」遡行図がある

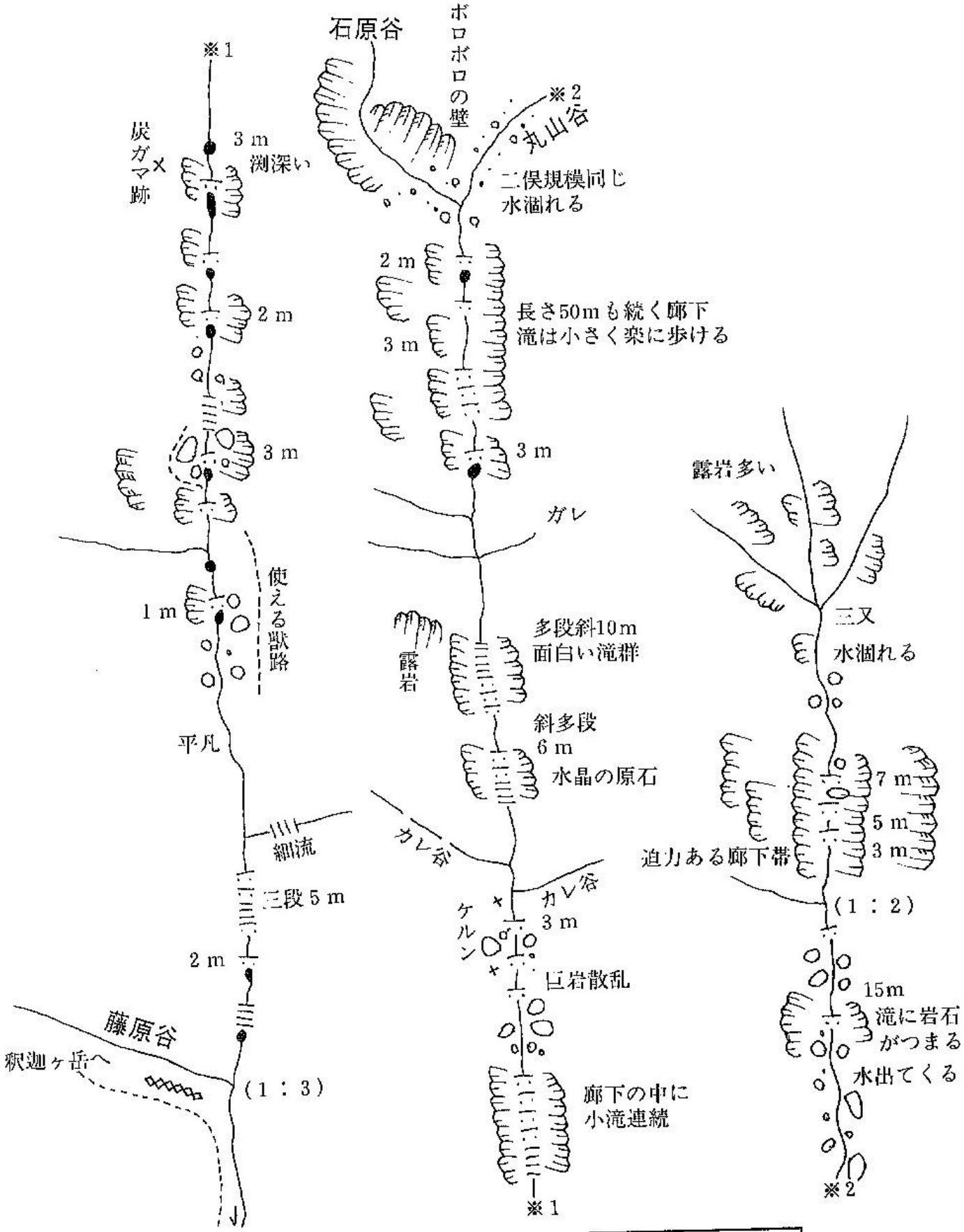
①尾高案内所前が登山者用駐車場になります
②尾高キャンプ場にトイレがあります
③尾高キャンプ場内の林道を通り、スリット堰堤まで歩きます
④魚止滝に下る林道があります。魚止滝は滝右横水際を登れます、すぐに堰堤があるので、林道に上がります
⑤林道終点にスリット堰堤があり、そこから入渓します
⑥女郎滝までは小滝が続き、水際を直登できます
⑦女郎滝は右から登れます（写真参照）
⑧女郎滝からしばらくで藤原谷との二股で右の本流を進みます
⑨藤原谷から先、釈迦ヶ岳東尾根の稜線が近く、右手の顕著な緩やかな支谷を進み、適度に上へ上がれば藪こきなく登山道にでます
⑩釈迦ヶ岳東尾根は鈴鹿らしく細いヤセ尾根、マーキングを外さないように進みます。
またこの尾根を下山するなら登山靴持参のほうが良いです
⑪尾高山から先は登山道がはっきりしています

尾高高原キャンプ場の横に流れるのが焼合谷で下部は堰堤があり、林道でパスしていきます。入渓点の特徴的なスリット堰堤の前に魚止滝を登ってからスタート。スリット堰堤を超えた所から小滝があります。小さな釜を従えた小滝が連続しますが、花崗岩系でホールドもしっかりしていてどれもまかずに登れます。川幅は割に広く、途中ゴーロ帯もありますが問題なく、小さなナメ滝や階段のように連続する小滝がきれいです。名のある女郎滝などロープを持参してシャワークライミングしてもいいでしょう。
釈迦ヶ岳まで詰めると、最後の方にガレ滝が数本あるのと、釈迦ヶ岳東尾根という長い下りを考えると丸一日かかりますが、中間部あたりで東尾根に出られるショートカットルートがあるのでこれを使って、短時間で抜けました。手頃で登れる小滝、つかれる小さな釜、短いナメと一通り揃っていて、明るめの沢となかなかよい沢で距離・時間も考えると初心者にはもってこいの沢です。
なお、今回は気温も低くヒル被害には会いませんでしたが、ヒル生息域ですのでご注意を。
下山時に通る尾高山（おだかやま・533m）はよく整備されたファミリー向けの低山で山頂からは広がる尾高高原、伊勢湾が見えます。なお下山に使った釈迦ヶ岳東尾根は破線ルートで冬季によく使う尾根のようです。尾高山～釈迦ヶ岳はヤセ尾根でマーキングはありますが、一般道ではありません。上部は脇道も多く迷うらしいので注意。
花崗岩の明るい渓相の沢。
難所も無く、プチ赤木沢って感じで雰囲気がよい。花崗岩なので沢にヒルは居なかった。
沢体験の初心者を連れて行くのに丁度良い。
歩き方によってはあまり濡れないので、遅い季節迄行けそう


774
584
尾高山
尾高山
杉谷
尾高高原
176
181
焼合川
県民の森
500
600
550
230



焼合谷下部
(藤原谷出合まで)


※1
炭ガマ跡
3 m
渕深い
2 m
3 m
1 m
使える獣路
平凡
細流
三段 5 m
2 m
藤原谷
釈迦ヶ岳へ
(1 : 3)
石原谷
ボロボロの壁
※2
丸山谷
二俣規模同じ
水溜れる
2 m
3 m
長さ50mも続く廊下
滝は小さく楽に歩ける
3 m
ガレ
露岩
多段斜10m
面白い滝群
斜多段
6 m
水晶の原石
カレ谷
カレ谷
3 m
ケルン
巨岩散乱
廊下の中に
小滝連続
※1
露岩多い
三又
水溜れる
7 m
5 m
3 m
迫力ある廊下帯
(1 : 2)
15m
滝に岩石
がつまる
水出てくる
※2

焼合谷上部